

海外メディアによる被災地取材（アジア諸国）

2011年10月23日から31日、「東日本大震災後の復興に向けた日本の歩み」をテーマとする記者招へいプログラムにより、アジア諸国から10名の記者が訪日し、被災地での取材を行いました。

1. 宮城県では仙台市、石巻市を訪問し、仙台市では宮城県国際交流協会において、同協会で活動を行うアジア諸国の方々から震災後の対応につきお話を伺った他、迅速な復旧を遂げた仙台空港などを訪問しました。石巻市では北村副市長から震災による被害状況、復興状況、今後の課題等について説明を受け、石巻赤十字病院において震災後の対応、石巻日日新聞では震災後も休刊することなく発行した壁新聞等につきお話を伺いました。



宮城県国際交流協会



仙台空港



北村 石巻副市長インタビュー



石巻赤十字病院

2. 福島県では、二本松市で JICA 二本松青年海外協力隊訓練所の取材を行ったほか、いわき市では同市内の仮設住宅に在住する広野町の被災者支援を行ういわき NPO センターの活動、また震災後大きな被害を受け、2011 年 10 月に部分開業を開始したいわきスパリゾートハワイアンズを取材しました。



JICA 二本松青年海外協力隊訓練所



いわきスパリゾートハワイアンズ

3. こうした取材の結果、以下のような記事が掲載されました。

11 月 3 日付 トゥオイ・チェー（ベトナム）

「津波の中での新聞発行」

11 月 3 日付 アンタラ通信社（インドネシア）

「災害に対する日本の強靱さから学ぶ」

11 月 8 日付 環球時報（中国）

「日本の被災地の情景は変わりつつある：廃墟の痕跡は消えつつあり、放射能の不安も次第に減少」

11 月 9 日付 星島日報（中国（香港））

「新仙台空港には津波の痕跡が見られない」

11 月 11 日、12 日付 星洲日報（マレーシア）

「東日本大震災後の生活再建」

11 月 17 日付 デイリー・インクワイアラー（フィリピン）

「日本は予想を超えて急速に回復」

11 月 17 日付 ヒンドゥ（インド）

「生活の再建と、失われた生活手段の復旧」

11 月 30 日付 タイ・ラット（タイ）

「日本の復興計画からタイが学ぶもの」

12 月 11 日付 トゥデイ（シンガポール）

「瓦礫からの再出発」

（了）